

Press release

2020年3月

アンビエンテ 2020: 新型コロナウイルスと暴風雨に見舞われるも 来場者満足度は高く

メッセフランクフルト ジャパン株式会社
加来ノ柏木
Tel. 03-3262-8453
press@japan.messefrankfurt.com
www.jp.messefrankfurt.com
ambiente.messefrankfurt.com
ambiente2020_2j

2020年2月7日(金)－11日(火)にドイツ・フランクフルト国際見本市会場で開催された世界最大級の国際消費財見本市「アンビエンテ」に、93カ国・地域から4,635社(前回92カ国4,460社)の出展者が集い、総展示面積310,240㎡(前回306,500㎡)を埋め尽くしました。今年のアンビエンテは、新型コロナウイルスと暴風雨による交通機関の影響を受け、来場者は160カ国・地域から約10万8,000名(前回167カ国136,081名)という結果となりました。来場者の62%はドイツ国外からの参加で、こちらも多くの企業による海外への渡航禁止や、暴風雨による欧州各国の交通機関の麻痺が顕著にあらわれました。



「本開催は二重の事態に見舞われ、大きな影響を受けました」と、メッセフランクフルト取締役のデトレフ・ブラウンは語ります。「しかしながら、出展者はこの状況を理解くださり、また一方では、意欲的で熱心に商談する来場者の姿が目立ちました」。来場者の満足度は95%(前回94%)と前回同様に高水準を保ちました。ドイツに次ぐ来場者数上位10カ国は大きな変動が見られ、イタリア、フランス、オランダ、スペイン、英国、トルコ、米国、ロシア、日本、中国の順となりました。また、昨年と比較して来場者数を増やしたのは、日本、エストニア、コロンビア、トルコ、ヨルダン、ルーマニアでした。

■HoReCa 初の専用展示エリア

アンビエンテはダイニングエリアの拡大にも力を注いでおり、ホテル、レストランおよびケータリング業界(HoReCa)の出展者向けに、初めて専用の展示エリアをホール6.0に展開しました。出展者による新コレクションの展示や多様なおもてなしが提案されたホール6.0は、ホテルチェーン、レストランオーナー、ケータリング業者、クルーズ会社、航空会社など、国内外のホスピタリティ業界の決定権を持つ来場者との出会いの場となりました。また、消費財全般を網羅する見本市であるアンビエンテの中にHoReCa専用エリアを設けたことで、HoReCaのバイヤーはダイニング商材に限らず最新のライフスタイルコレクションを総合的に発注できるようになりました。さらに、HoReCaアカデミーでは、国内外の著名な登壇者たちが業界内の最新トレンドについて発表し、連日開催されたトレンドツアー「HoReCa Meets Contract」では、HoReCaの専門家がトレンドやデザインコンセプトを紹介して、参加者から好評を得ました。



ジャパンスタイルに出展したメッセフランクフルト ジャパンのブース

■日本からの出展者の声

今年は日本からは 94 社(前回 85 社)が出展しました。日本独自のライフスタイルと美意識の高いモノづくりが融合した出展プロジェクト「Japan Style」は、従来のホール 8.0 に加え、新たにホール 4.1 にもブースを新設しての出展となりました。ホール 8.0 では、昨年に引き続きメッセフランクフルト ジャパン自らがブースを設け、各出展者による実演やワークショップ、日本酒を振舞うバーなどを通して来場者へ積極的な PR 活動を行いました。

Japan Style として、ダイニングエリアのホール 4.1 へ出展した株式会社プレステージ ジャパン 専務取締役の吉田安志氏は「このエリアは、高級ブランドを扱う百貨店バイヤーや即決する専門店バイヤーが多いように感じました。Japan Style の皆さんとホールは離れてしまいましたが、同じ仲間としてホール 8.0 への誘導にも繋がったので良かったと思います」と語ります。

ギビングエリアのホール 11.0 に出展した株式会社マーナは、メディアを対象に実施されたデザイナーズツアーでピックアップされた 1 社です。主力商品である一気に畳めるバッグで継続出展を決めました。「きれいに畳みたい、という日本人ならではのこだわりから生まれた商品を、海外でも日常的に使っていただけるようにしていきたいです。今年もお取引先を数カ国増やせればと思っています」と海外営業部の橋岡佳子氏はコメントします。

アンビエンテの姉妹見本市「IFFT/インテリア ライフスタイル リビング」の Young Designer Award 2019 の副賞として初出展を果たした KAMEHIKOWORKS は、特別に調合したアロマオイルの受け皿として、軽石とプリザーブドフラワーを用いたオブジェを披露しました。新進気鋭のデザイナーが集う Talents での出展でしたが、リゾートホテルでのワークショップや欧州のホテルからの声掛けが多かったと亀井紀彦氏は言います。「おかげさまで多くの方に声をかけていただきました。来場者と話す中で、ただモノを売るのではなく体験として導入いただく方が需要に合うように感じました」と今後の方向性にも言及しました。今年、HoReCa 専用ホールが新設された影響のためか、例年よりホテル関係者の来場者が目立ったとの感想が他の出展者からも多々見受けられました。

■サステナビリティから見たアンビエンテ

アンビエンテが業界のパイオニア的役割を担っているサステナビリティ分野でも、多くの可能性が感じられました。アンビエンテが長らく支援している世界フェアトレード機関(WFTO)や国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)のプロジェクト「MADE51」のプレゼンテーションやイベントが開催され、多くの来場者から人気を博しました。サステナビリティの注目度は、アンビエンテに出展している環境・社会に責任を担う企業をまとめたエシカルスタイルガイドにも反映されています。本ガイドの最新版には 49 カ国・地域から 314 社が掲載され、昨年より 27%増加しました。

■ブラジルデザインに焦点を「Focus on Design」

今年から新たに誕生した特別企画「Focus on Design」では、ブラジルで活躍する5つのデザインスタジオにスポットライトを当てました。展示された製品を通して、急速に成長を遂げているブラジルの現在のクリエイティブシーンを奥深く紹介しました。また、この他にもドイツのデザイントレンド発信事務所ボラ・ヘルケ・パルミザーノが監修する次のトレンドとなる形や色、素材を発表する特別展「Ambiente Trends」や「German Design Award」の展示も例年通り多くの来場者を魅了しました。

今回のアンビエンテは2021年2月19日(金)ー23日(火)に開催します。

■2020年の開催画像

<https://ambiente.messefrankfurt.com/frankfurt/en/press/press-material.html>

■国内姉妹見本市

インテリア ライフスタイル: 2020年6月3日(水)ー5日(金)

IFFT/インテリア ライフスタイル リビング: 2020年10月28日(水)ー30日(金)

<http://www.interior-lifestyle.com/>

■報道関係者からのお問合せ先

プレス担当: 加来/柏木

Tel. 03-3262-8453 / Fax. 03-3262-8442

press@japan.messefrankfurt.com

www.jp.messefrankfurt.com

世界最大級の消費財見本市「アンビエンテ」

アンビエンテは、世界の消費財市場を牽引する国際見本市です。ダイニング、キッチン、家庭用品、ギフトアイテム、ジュエリー、ファッションアクセサリ、インテリアデコレーション、ホーム・ファニッシングアクセサリの分野において、出展商材、来場者層の幅広さと質の高さから世界で最も重要な見本市として位置付けられています。

メッセフランクフルトについて

メッセフランクフルトは、自社で国際見本市会場を保有し、年間売上高約7億3,300万ユーロ*を誇る、世界でも有数の見本市主催会社です。世界中に30の拠点をもち、全体で2,600人*を超える従業員が働くメッセフランクフルトは、グループのネットワークを活かして各国間で連携を取りながら、見本市&イベント、地域性、サービスの3つの枠組みで、各地であらゆる産業界を牽引する見本市を開催しています。見本市運営だけでなく、デジタル事業にも注力しているほか、会場の貸出から、施工、マーケティング、スタッフサービスやケータリングまで、多角的に顧客企業のビジネスをサポートしています。メッセフランクフルトは、ドイツ・フランクフルトに本社を置き、同社株の60%をフランクフルト市、40%をヘッセン州が保有しています。

より詳細な情報は公式ウェブサイトをご覧ください。www.messefrankfurt.com *2019年暫定数値